

世界アルツハイマーデー記念イベント

認知症 とともに暮らそう この街で

◆9月21日は世界アルツハイマーデー

「認知症」は誰にでも起こりうる脳の病気です。
自分のため、家族のため、地域で暮らす認知症の人とその家族のため・・・
認知症のこと、もっと知ってください！



日時

平成27年 **9月13日(日)**
13:00~16:45

場所

アオッサ
AOSSA (福井市手寄1丁目4-1)
601ABC (6階エスカレーター横)

～プログラム～

- 13:00～ 福井駅周辺にてアルツハイマーデーチラシ、リーフレット配布
13:30～ 記念講演会開場 (AOSSA601ABC)
14:00～14:15 開会あいさつ
14:15～14:45 **介護体験談**
話者：認知症の人と家族の会
14:45～16:45 **記念講演「地域で支える認知症 家族・本人の応援隊であるかかりつけ医」**
講師：医療法人英和会 貴志医院 院長 貴志 英生 氏
16:45 閉会

参加無料

定員100名

貴志 英生 氏

- ・医療法人英和会 貴志医院 院長
- ・精神保健指定医：福井県精神科診療所協会設立準備会代表
- ・小児から老人まで、地域医療に携わりながら、訪問診療も実施
- ・認知症サポート医
- ・福井市認知症初期集中支援チームメンバー
- ・「福井見える事例検討会」を2ヶ月に1度主催



◆認知症の個別相談会

認知症に関する相談に家族会会員が応じます

時間

- ①13:00～13:30 ②13:30～14:00
③14:00～14:30 ④16:30～17:00

定員 各時間帯につき1組

※事前にお申込みください

●個別相談会申し込み・問い合わせ先●

福井県長寿福祉課在宅ケア推進グループ

☎0776-20-0332 FAX 0776-20-0642 E-mail:choju@pref.fukui.lg.jp

共催：福井県、公益社団法人認知症の人と家族の会 福井県支部

後援：厚生労働省、福井市

記念講演は認知症サポーター養成講座を兼ねています

認知症ってどういう病気？



認知症は
身近な病気です。



認知症は、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったためにさまざまな障害が起こり、日常生活に支障をきたす病気です。

現在の福井県内では65歳以上の高齢者の約1割が認知症となっています。高齢化に伴って、認知症高齢者は今後ますます増加すると予想されています。

認知症の方に どう接したらいいの？



笑顔で優しく！



●基本姿勢●

認知症の人への対応の心得“3つの「ない」”

- 1 驚かせない
- 2 急がせない
- 3 自尊心を傷つけない

●具体的な対応の7つのポイント●

まずは見守る

認知症と思われる人に気づいたら、本人や他の人に気づかれないように、さりげなく様子を見守りましょう。

相手に目線を合わせて やさしい口調で

小柄な方には体を低くして目線を同じ高さにして対応しましょう。

余裕をもって対応する

こちらが困惑や焦りを感じていると相手にも伝わって動揺させてしまいます。自然な笑顔で応じましょう。

おだやかに、はっきりした 話し方で

ゆっくり、はっきりと話すように心がけましょう。その土地の方言でコミュニケーションをとることも大切です。

声をかける時は1人で

複数で取り囲むと恐怖心をあおりやすいので、できるだけ1人で声をかけましょう。

相手の言葉に耳を傾けてゆっくり 対応する

たどたどしい言葉でも相手の言葉をゆっくり聴き、何をしたいのかを相手の言葉を使って推測・確認していきましょう。

後ろから声をかけない

唐突な声かけは禁物です。「何かお困りですか。」「どうなさいました？」など、さりげない言葉がけを心がけましょう。



認知症の方もいろいろな能力を持っています！